



伊勢志摩サミットも無事終えて…

伊勢法人会会長 塚本 征也

心配された事故もなく、伊勢志摩サミットも大過なく運営されました。

まさか、先進国の首脳が神宮に集うという夢のような出来事が実現されました。

平和を願う世界のいろいろな宗教の方が、自然を尊ぶ神道の地で一同に会して、平和経済の将来をディスカッションするという夢のような行事が実現いたしました。

国の歴史、経済の歴史は税の徴収の方法論、分配論の歴史であります。私達の日本社会も戦後、平和な経済活動を持続してまいりました。しかし、人口構成の比率や高齢化、少子化の中でいかにして豊かでなおかつ末永く平穏な持続社会を実現するためには、私達国民・市民が知恵をしばり、考えて実現しなければなりません。

今後、島国である日本でも移民受け入れや、難民流入対応もせまられる時代が来るかもしれません。EUにおける英国同様、島国日本も陸続きでないという理由で、そのあたりの要求に対応しなければならない時代はすぐそこに来ているかも知れません。

近年、税収の公平性を保つために、タックスヘイブンのケイマン諸島、パナマの問題が表面化して参りました。このような国際的な税の事件は国の外務省や財務省にお願いするとして、私達は近々の10%増税のこと、軽減税率の対応や国の増加する財政負担の正しい分担について、公平でスムーズな運営を出来るよう国民として知恵を出してゆきたいものです。

収税・納税に対するスムーズな運営のための地道な旗振り役、応援団として、今後共、息の永い正しい運動を展開してゆきたいものです。法人会親会は言うに及ばず、当会には活発な女性部会、元気な青年部会の大きな力があります。会は会員同志一致団結して、みんなで楽しくなおかつ有効な事業運営を進めてゆこうではありませんか。そのためには、私達の法人会の仲間の輪を広げ、資金協力いただいている保険3社に対しても、役員・会員一同となって、その協力にお礼の意味で加入拡大に協力をしてゆこうではありませんか。

新署長をお迎えして、今後共伊勢税務ご当局とも深く連携をとり、私達、伊勢法人会により一層の活動を推進してゆこうという決意を新たにします。